明治四十五年六月二十五日（第三種郵便物認可）
大正二年一月二十九日發行（毎月一回二十五日發行）

婦人新報

第百八拾七號

日本基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百八十七號目次

社說

旅行中の雜感　三谷民子

をしへの庭

信仰の萬能力　靈南坂教會牧師　小崎弘道氏

信仰の進境　大谷虞氏

講演

聖潔之德　宮川經輝氏

樂天の歌　長坂鑑次郎氏

貞節の變遷　文學博士　佐々醒雪氏

もしほ草

すぎこしかた　矢島楫子

少年少女に寄す　藤田寛太郎氏

ホーム

オベリン大學に於る男女の規則　小崎道雄氏

煙草の害　ガントレット夫人

子供の衞生

はたらき

英國醜業者に關する刑法改正

消息、本部だより

社告

◉婦人新報定價(郵税共)

一部(前金)　金六錢

六部(前金)　金三十五錢

十二部(前金)　金七十錢

(郵券代用一割增)

◉廣告料

一行(五號活字)　金十錢

大正二年一月廿三日印刷

大正二年一月廿五日發行

發行兼印刷人　矢島楫

編輯人　高原孝

發行所　東京市麹町區上二番町卅三　矢島方　婦人新報社

編輯及事務所　麹町區上二番町卅三　矢島方

No. 187　　　JANUARY. 1913

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

Randon Thought.............................Miss. Mitani.

The Power of Faith.............................Mr. Kozaki.

The Progress of Faith.............................Mr. Otani.

The Holiness.............................Mr. Miyakawa.

The Song of Paradise.............................Mr. Nagasaka.

Changes of Japanese Chastity.............................Mr. Sassa.

Reminiscence.............................Mrs. Yajima.

An Open Letter to Children.............................Mr. Fujita.

A letter from America.............................Mr. Kozaki.

Hints of Children's Health.............................

Reports.............................

FUJIN SHIMPO OFFICE.

c/o Mrs. Yajima, No. 33 Kaminibanchō Kojimachi, Tokyo.

70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産婦人科
小兒科

鶴仙改め
女醫 吉岡彌生

△院長診察 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市麴町區飯田町四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二一五七番

看護婦幷に見習生

募集

東京芝區葺手町五番地

渡邊看護婦會

會主 渡邊鎌子

電話芝壹三九三番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

嚴寒の讀み物

松本雲舟氏譯

日々の祈

（最新刊）

定價四十錢　郵税六錢　四六判・總假名

日々の力の源は日々の祈である。すべての德は、祈より發しなければならぬ。本書は古今の敬虔なる信者の祈を網羅して、之を三百六十五日に配當して、祈の模範、靈の糧たらしむる様にしたのである。されば、假名を讀みうる人ならば、老人でも、子供でも一讀して文意が解り、裨益するところ尠くないのである。苟くも朝夕祈ることを忘れぬクリスチャンは、一本を備ふべきである。

德富健次郎氏序　小西增太郎氏著

聖地パレスチナ

定價一圓　郵税八錢　函入寫眞挿入

基督を知るには、その背景をみねばなりません。著者はパレスチナに永く滯在して、聖地を研究されたのです。本書は蓋しキリスト傳研究者に取て、屈竟なる手引であります

□ 東京京橋銀座　警醒社書店　振替東京五五三番 □

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第百八拾七號

旅行中の雜感

三谷民子

あたり靜かな室に居つて心ゆくまゝに書物を繙く事はまことに好な方でありますから、書店に參りますと案外の本まで手に入れ度なります。之と同じく旅行を致す事もなか〱面白く感ずる方でして、時と費用が許すかぎりはと樂んで居ります。旅行に依て得る智識は、讀書によりて得まするそれよりも又格別のものがございますから、可成姉妹方に旅行をおすゝめ致し度いと思ひますが、之には旅宿の改良を計り又各々が公徳心を養ふ樣につとめますなら尚一層愉快に、そして簡易に旅行が出來、家に〱と閉ちこもり度き習慣がら放れて、自然外界にも眼を注ぐ樣になり、種々なる方面に於て智識を御磨きになる事が出來ると存じます概して申せば、汽車の中でも或る處には禁煙車なしビールのこわれたる瓶、さては蜜柑の皮など床に捨てある、その不愉快は申すまでもございません。少し身體を樂にと思ひましても、我を〱と勝氣になつて毛布などお擴げになるお方もあると、却て我が家の方が戀しくなり、馴れぬ方はやはり旅はせぬに如かじとお感じにならるゝにやとの想像も起つて參ります。旅行と云ふ事に眞の價値を認めて、お互が注意致し、人も我も愉快にと務めましたなら如何でございませう。

旅宿に着きますると、まづ如何なる人かと注目さるゝを初めとして茶代の多少、衣服の品によりて判斷されます其淺薄なる仕方には驚きます、先頃茶代廢止な

ど大分聲が高ふございましたが、實際には中々行はれて居りません、之は取扱をよくして貰い度いとの客の考から舊來の習慣を矯正する事が出來ないのでせうが實際充分に費用の請求を拂ひたる上、茶代を與ふる必要がございませうか。

見馴れぬ山水に無限なるお力をさとり、歴史にゆかりある此處かしこの名所如何になど少しくつろいだ樣に覺えましても、ほんの襖一重のみを隔てたる隣室には如何なる方がお泊りかと思ひますと又不安の念にかられ、又朝まださは今しばらくその儘にしてほしいと思ふ矢先、人の心も察せず音あらく雨戸を明られまする其同情なき致方、折角心身を休めん爲の旅行も却て心づかひとなり、之等を外國の旅館に比べますと誠に恥かしく存じます。勿論西洋風にとは建築の許さぬ點もございませう、急にかくあれとは望みがたい事ですが、せめては隣室との交通丈も出來ぬ迄に注意を拂ふ樣な仕方のない譯でもございますまい。近く御卽位大禮式もございますれば、外國よりも御客があり又多くの方が旅宿について私の樣ないやな感じの經驗をお持にならない樣に希望致度のでございます。

また一寸散歩を致すにも履物を尋ねますと多くの人がわざ〳〵出て之を送り迎ふるといふ誠に容易ならぬ仕方になりますので、つまりは自由を束縛さるゝ心地が致します。斯る事は畢竟公德心と信用の缺乏から、起つたのでありませう。私共の居ります内御夫婦連の客が一泊をと參られましたが、室は多くあつたにも不拘、體よく斷はりたるは如何なる譯かと尋ねますと其客は荷物が餘り少かつたので疑念を持つたのだとの事でした。こんな有樣では迚も舊來の習慣を脱し、衣服などに煩悶しませんで簡易に旅行を致す事は覺束ないと思ひます。

御話は變りますが敎育の點に於ても何々受驗と申せば、寫眞と本人と符合した上で初めて信を置くと云ふ有樣で實に公德心なき、又一方からは信用の缺乏を現はして居ります。之より進歩せねばならぬ御世の婦人の立場として改良すべき事多々あるを感じて居るのでございます。（文責は記者にあります）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

信仰の萬能力

霊南坂教會牧師　小崎弘道

信ずるものに於てなし能はざる所なしと云ふ事に就き考へ度ので、主イエスはペテロ、ヤコブ、ヨハネの三人の弟子を伴ひヘルモン山に御登りになつて變容なさいました時、或人が我子の惡鬼につかれた者を連れ來り、どうか癒して頂き度いと麓で待て居りました、弟子等は平日は癒しましたが此の日は何も出來なかつたのであります。之を見て居た學者等は大へん議論をして大に弟子等をこまらせました時に、キリストは山から下りて御出になつて『汝もし信ずる事を得ば能はざる所なし』と仰つた、之を聞きました親は涙を流して、信仰致しますが弱いものでありますから助けて下さいと願いました、そこで子供の時から疾で居つたのが急に直つたといふ物語であります。

皆さんそれは二十年の昔の事であるから今日は如何かと御云ひになるでせう、それはやはり信仰です、信じたならばどんなむづかしい事でも出來ない事はないと思ふのが大事であります。歴史を見ますと信仰によつて不思議な事が出來たのは驚くべき事があります。

今から七八百年前(十二三世紀)に歐洲諸國に大へんな戰爭があつた時、佛と獨にふしぎな事がありましたフランスの方ではステパナと云ふ十三歲の子供が神の惠を受けて感じたりと頻りに說敎をして歩き、ユダヤに王國を建てやうと致した時、罪の無い子供が斯樣な事をするなら成功するだらうと說て廻て五萬人の仲間をこしらへ、パレスチンに行ふと出掛けましたどんなに人がをさへても聞く所ではありませんでした。之が當時の信仰を大に奮はせました。一寸考へると十二や十三の子供に斯ふ云ふ事の出來るわけがない樣にあり

ます。
獨逸ではニコラスが十才で同じ様な事を企てた、策略もなく計畫もないから中々むつかしいのでありますが兎に角信仰を起した事は確であります。
又二三百年前にジョンダークと云ふ女の子が十二才ばかりの時から信仰の人で一人會堂で御祈をして、神の示を受け十八才の時、フランスと英吉利と戰爭をしてフランスは敗北し詮方盡きて危期に迫りました折、彼女に神の告ありて『汝起ちてフランスを救へ信ずる者に能はざる所なしと直ちに起ちて何萬と云ふ兵を募り戰場に出ますと連戰連勝難なく其目的を達しました事は世界の歴史に名高き事實でありまして全く信仰の力によつて成就したのであります。
　近年になりまして人間が兎角理屈ばかり云ふ様になつて一も二もなく學にばかり傾き、信仰ですると云ふ事が少ない、信仰でやる事ならどんな事でも出來ると聖書にも敎へられてあります。西洋でも以前は迷信だと申して居つたのでありますが、近頃信仰で病をさへ癒した様な事はたくさんは無くとも他の人の祈又自分の信仰によつて癒る事があると申して居る、信じさへすれば出來るのであります。
　人の目から見てあんな惡人が善人になる事は到底不可能と思ふても信仰によつてだん／＼悔改善人になる事もあります。此の頃英國で多くの人の讀む本『こわれたる土の器』著者はベルクビーで二三年にしかなりませんが二百三十版になつたそうである、どう云ふ事かと申せば、とても外の人が考へても悔改めて立派な人になれまいと想ふた人が悔改めた九人の顚末を記し、その人々の子供時代から先天性を告白せるありとあらゆる惡人が善人に立歸つた事蹟をかゝげてある、中には若い時から酒を飲むその癖が惡くて、食事にかへても酒ばかり飲む、殆んど病氣で治療が届かぬと云ふ程の酒のみが悔改め又墮落した女が眞面目になつた事やら何れも讀んで感ぜざるを得ない事ばかりで信仰の萬能力を確にするといふ事を現はして居ます。
　日本でも著しい人の悔改に就而私は三人程知つて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

居る、内一人は故人となられた渡邊豐吉氏で幼時から親にすてられスリの仲間入をして永い間獄に居たが遂に立派な信者になつて岡山孤兒院の擔當をしました。一人は神戸で出獄人保護をして居る村松淺二郎氏である、十五六才の時から墮落して惡と云ふ惡をしない事はなく獄にある事十八年、刑を受し事十三四度といふ此の人原胤紹君の御世話で家内を持ち 私 の處で結婚式を擧た、家内の着物を衣せた事などもありましたが只今では人から信頼される樣になつて事業の爲に立派に働いて居る。

好知由太郎(鐵窓二十三年の著者)氏の如き盜賊、殺人放火犯どうしても生きて居られない程の惡事を重ねた人である、この人が自分の經歷を時事新報に出た事がありますが、ある呉服屋のばん頭が死んで、後家一人殘つて居た、それに談判してその婦人が自分の意を容れないのを憤り遂に强姦をしてもと計つたが應じなかつた故殺して金を取り火をつけて逃たそうである然し此の人の母上が始終祈て居つた結果遂に信者になつて今では非常に熱心な人になつて到る處に神の惠の證をたて好い 働 をして居ります。

斯樣に變化するのは何であるかと申せば、身も靈もすべて捧げて絕對に服從するからである、パウロの如く弱き時に强しと、ほんとに神にすがる時に强い力が出るのであります、ヨハネ十五章に葡萄樹の例があります通り幹から離れる時は實を結ぶ事が出來ず、何事をも成す能はずと云ふ事になります。考へて見れば老人だから又身體が弱いから何も出來ないと云ふてはいけません、弱き婦人を使ふていろ〳〵の御用をさせて下さるのであるから確かなる信仰を持てキリストの御言葉に 從 て歩むのが大事であります。神の力は電氣の樣で針がねで傳はるのであるが故障があると火が消ます、信仰に故障が起つて神とつなぐ事が出來ませんと何の力をも得る事は出來ないのでありますから故障の起らぬ樣にするのが大切です。

(老人會席上の講話　文責記者にあり)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

信仰の進境

大谷虞

▲基督我にありて生く

人が一旦信仰の生活に入つても中々信仰の進境がないと云つて嘆く者がありますが。此は眞の信仰に入つた者ではないのです。パウロの言つた『もはや我生くるに非ず基督我にありて生く』との自覺を得れば茲に始めて信仰の進境を見ることが出來るのである。然し此自覺を得ぬ内は何時まで立つても、如何に奮鬪しても果ては根氣負けをしさうになつて來るのである。多くの人は此自覺を捉へねばならぬ事は知つて居るが、大抵の人は此の自覺を理想として見て居る。願はしき事には相違ないが迚も及ばぬと諦めをつけて居る風がある。パウロの如き非凡なる宗教的天才にあつて初めて見るべきことで我等凡夫の企て及ぶ所に非ずと竊に腹の底で言譯をして居るかも知れぬ。是が抑の誤りである。此自覺は稀に世に出る偉人のみ有ち得べきものではなくて誰も彼も苟も基督を信ずるもの丶皆有たなくてはならぬものである。基督ペテロに向つて『汝我を愛するか』と問はれた。此問は昔のペテロだけに問はれたのではない。總ての基督を信ずるものに向つて今も尙此問はかけられて居るのである。そして我等は此問に對してペテロの樣に『主よ然り我が汝を愛することは汝知れり』と自ら欺くことなくして答へ得られやうか。愛は純一無雜でなければならぬ。愛の一切でなければならぬ。半ば基督を愛し、半ば己を愛すると云ふ樣な愛は、愛の性質に於いて許さぬのである。我は已の爲に生くるに非ず、基督の爲に生く、基督は我が一切であると云ふ自覺が太陽の樣に我心の中心に輝いて居らねば基督を愛するとは云はれない。基督を愛せざる基督信者のある筈はないので、我生くるに非

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ず基督我にありて生くとの自覺は苟も基督信者たる者の皆有たねばならぬものである。固より此自覺が我等の靈魂の中に押擴つて輪廓までも充すやうになるには多年の修養を要することであるが、靈魂の中心に於て一大變化が起り、我物顏に威張つて居た『我』が其位を退いて基督が之に代ることは其決心の與へられた一刹那にあるのである。此生命の回轉を經驗せぬものは名は基督であつても基督神者たるの實はないのである。

▲基督の愛に心を傾けよ

偖此自覺は（第二）自から獲るのでは無く基督によつて與へらるゝのである。彼に充ちたる中より受けて恩惠に恩惠を加へらる（約一の一六）と約翰の言へるは眞に基督敎の秘訣を示したものである。我等は備られたるもの與へられたるものを受くる身分となつて居る。稼ぎ出すのでは無くて遺産を相續するわけである基督が其限なき愛を以て我等に臨みたまふので、一度其愛に觸れたるものは之を愛せずに居られない。丁度向日葵が日を追ふて花を開くやうに、基督の愛の日に照らされた我等が心に愛の花が咲かないでは居られぬのである。されば基督を愛せんことを志すものは、先づ基督の愛に心を向け沈思反覆深く之を玩味しなければならぬのである。それゆゑにエペソ書には基督の愛の擴さ長さ深さ高さを識れと敎へてある。あらゆる關係に照して基督の愛を尋ぬると云ふ意味であろふ。私の近頃の經驗に就て御話をすれば、私も長い間基督の眞の愛に觸れたいと願つて居つた。それを得ぬば自分の宗教も空虛なものであると思つた。私は圖らぬ疾病を得て郷里に靜養する身となつたが、私は此靜な時に是非多年の宿望を達せねばならぬと思つた。私は讀みもし考へもした。或日平生愛讀して居つた一冊の書を携へて屋後の鎮守の森に這入つて、十字架の死に關する章を讀んだ。讀んで往くうちに妙に私の心は動いた。罪無き基督が罪ある人類の爲めに苦み惱みたまふたことを說いてある所を讀んで居るうちに、基督を十字架に釘づけたものはユダヤ人であつたなれども、彼が靈を十字架

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に釘づけたものは、あゝ我亦其一人であつたと氣がついて已の恐ろしい罪に身震ひをした。そして已の罪を思ふと共に基督の恩愛を思ふて感恩の念胸を衝いて起り止め度もなく涙が湧いて起る。私は暫時の間木の根に腰を掛けて泣て居た。思想としては新しい譯では無い。私は是れ迄そんなことは幾度も考へた而し私は始めてかく思想に思ひ當つたやうに、何となく私の情は燃ゆるのである。聖靈の御働と云ふのはかゝる心持を云ふのであろふ。私の經驗はまだ淺薄なもので言ふにも足らぬが、それでも此時から十字架は新しい力を以て私の心に働くやうになつた。私は今尙一層深き愛を味ひたいと頻りに求めて居る。詮ずるところ基督敎の第一義は愛せんと勉むるよりは愛せられんと勉むることにあるのである

▲克己心が必要である

（第二）は基督に依つて與へられたるものを自から守り且之を擴充することである。即ち其の靈魂の中心を迎へ入れた基督を押擴めて輪廓にまで充たしむることである。それには克已と云ふことが非常に大事である大い事にも小い事にも基督の爲め基督の爲めと云ふことが何時も中心の動機となり、私心私情の頭を擡げぬやうに念々忘るゝことなく力め勉めて已まなかつたならば、不透明なる我が靈漸く透明となり至誠一貫表裏矛盾のないものとなり得るのである。エソオの事を希伯來書の著者は籬なきものと評してある。我等の心も籬を結ひ廻らすことを甚だ怠つて居る。籬が無いので牛でも馬でも豚でも鷄でも何でも自由に這り込んで踏み荒らす。我等の靈性は久しく卑き汚れをる情念の踏み荒らすに任かされて居たものであるゆゑ、己が心は己が思のまゝにならぬ。兎もすれば草賊反旗を翻して基督の位を奪はんとする。思はざるところに曳き行かれ思はざる罪を犯す。此折さへあらば謀叛を起す私情私心を克服して根を斷ち葉を枯らし、全く清き心を以て基督に仕ふることは我等の大に修養工夫を要するところである。（福音新報より抄錄）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

聖潔の徳

組合教會牧師　宮川經輝

◎幼稚なる時代の潔の感念

「潔」といふ觀念は、昔からあつた。勿論其時代々々によつて內容は頗る變化して來て居る。古への幼稚の國民には、魂を潔めるとか、心を潔めるとかいふことは分らないで、唯極めて外面の事をやつて居る。ユダヤの殿の中には、聖の聖なる所といふのがあつて、何人も其處には入ることが出來ない。又身を潔むるの禮があつた。食事をするにも、必ず手を洗ふの禮があつた。食物にしても、角があつたり、爪が割れて居なんだりして居る獸は、汚れたるものとして喰つてならぬ定めである。水鳥もさうだ。骨なき鱗なきものもさうだ。若し人の死體に觸れたら汚れる。月經時に於ては婦人は悉く汚れたものである。斯くて頻りに聖といふ觀念を說いた。

◎靈に就いて潔

キリスト、イエスに至つて、『靈の潔め』といふことを頻りに說かれた。さらば、靈の潔めとは何か、其はいろ〳〵の種類がある。

第一、金錢の慾より潔めらるゝことである。之を廉潔と云ふ。

第二、女の色より潔めらるゝこと、之を貞潔と云ふ。之は支那にも日本にもない、ギリシャにもない、基督教獨得のものといつてもよい。

第三、名譽の慾より潔まることである。譽められたい、持上げられたいといふ慾望をすてることである。之を高潔といふ。

第四、俗界の事を一切打ち棄てゝ、眞實心より已れを神に獻げることである。之を聖潔といふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

右の四潔の中、高潔と廉潔とは、東洋に於ても求めて之を得べし。貞潔と聖潔に至りては、遺憾ながら殆んど絶無であつた。或はあつたかもしれぬ。併しながら、極々稀の事である。

◎日本人は世界一の不潔

殊に我日本に於ては、貞潔の人として尊むべき人物は、曉天の星よりも稀である。維新當時の志士を見よ。世を憂ひ、國を愛するの熱情に至つては、誠に見上げたものであるが、貞潔の道德より見れば、誠に言語道斷、悉く腐敗漢である。西郷南洲の如きは人を相手にせず、天を相手にすると喝破した程の偉人であるが、至る處に於て女に關係して居る。伊藤博文と異なる處はない。昔ばかりではない、今日でもさうだ。或外國人の著書中、日本婦人の七人中、一人は必ず醜業婦だと書いて居る。實に日本人は世界第一の淫亂國として相場がきまつて居る。

◎聖潔の眞意

扨て聖潔に至りては如何、之は何れの德よりも困難なる德である。神の聖心に絶對的に服從する。心の底の底まで澄みきつて居るといふものは、中々得難い。或名高い聖者監督に Holiver に就て何ぞ書いて貰ひたいと本屋が賴んだ。すると迚も私には書けないといふ二三日して再び本屋が來た。而して同じ事を賴んで行つた。其時監督は言つた。自分は我心の不潔なことがあり〳〵と感ぜられて、どうしても筆が動かない。本屋は三度來た。けれども監督は遂に斷つたといふ。考へて見ると聖潔といふことは、實に得難きの德である。我々はいゝ加減潔いと思つて居る。が、それは自分の標準が低いからである。イエスの御祈の中で最も大なる祈りは『聖心にまかせ給へ』である。吾々も已の心を神の聖心にまかすることとが出來る樣にして、何時でも此祈りをすることが出來得るやうに修養せねばならぬ。是が基督者の一大修養であると思ふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

樂天の歌

（侍第二十三篇）

長坂鑑次郎

詩は說くべきものではない、味ふべきものである、廿三篇は讃美歌である樂天詩である、人各々其の趣味と經驗に順つて玩味すべきものである、さればあまり甲斐なき事ならんも我身にしみし感じのまゝを獨語の樣に諸君の前に語つて見んか。著者はダビデなるべく、牧人としての經驗より吟じ出でしものであらう。

ブラウニングのソールといふ長篇に野より來りしダビデが、天幕にあるソールと對面する狀が描いてあるが前者は百合の花を琴にさし挿みて嬉しげに後者は天幕の中央に悄然として立つ。イスラエルの王者は神に離れて憂愁に沈み若き牧人は神の愛の許に歡喜胸に溢る悅びに滿てる野の人、若きダビデの心は卽ちこの歌の心である。

一『エホバはわが牧者なり、われ乏しきことあらじ』

吾人は對比に因て此所の趣味に觸れんか試みに牧者なき羊の狀態を見よ、思へ神なきの人生觀いかに貧弱なるかな、其の生活、假りに『賴みなき浮世、いかに淋しき我世かな』と吟じて而して再びこの一節を味ひて見よ。

さる青年女性吟じて曰く

何事のたらぬもなくあこがれて
うらさびしさや櫻ちる頃

此乏しき心蓋し現代青年の心事であらう、而してこの詩人は曰く『エホバは我が牧者なり』と、余は此一句既に完全なる一篇の詩を成してゐると思ふ、愛の神存在す、宇宙統一して天地は我が家となつた。心の夜は明けた、疑の雲は晴れた、思に足らはぬふしもない、卽ち胸に溢るゝ歡喜を靜に表白して『エホバは我が牧

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

者なり、われ乏しきことあらじ」と歌つた。
二「エホバは我をみどりの野にふさせいこひの水濱にともなひたまふ」
若草の萌ゆる所清き水の湛ふる所食ふによく飲むによく又憩ふによき所である。彼の

心なき身にもあはれは知られけり
　しぎたつ澤の秋のゆう暮

と歌ひし人の抱きし人生觀と思ひ比べてこの詩人が味ひし豊富なる生命に注意すべきである、キリストもいはれた
「我きたるは羊をして生を得かつ豊ならしめん爲なり」
三「エホバはわが靈魂をいかし名のゆゑを以て我をたゞしき路にみちびき給ふ」
人生の砂原をたどり來て神の國の美を味ひし者の歡樂は是である。青年詩人歌て曰く

たらちねの親に遇ひたるうれしさに
　旅の疲れもわすれはてけり

「我が魂を生きかへらしめ」とはよく眞情を語つてゐる草なき水なきパレスチナの野山をたどり來てこの美しき所に出で我牧者の傍に息ふ歡喜實に思やらるるのである。されどこは唯享樂主義を語る者ではない。めいるやうな靜寂主義を喜ぶ者でもない。「魂生きかへれば又「正しき道」に進みゆくのである、こゝにも彼の偉大なるヘブル人の倫理主義が示されてゐる、息ひのあとには又々努力の道に導かるゝのである。
四「たとひわれ死のかげの谷をあゆむとも禍害を恐れじ、なんぢ我と共に在せばなりなんぢの笞なんぢの杖われを慰む」
向上の道たどり行けば嶮しき所暗き所怪しき所、危き所、氣味の惡き所に出で來る、これが人生の死蔭の谷である、當今の青年には隨分と深い處まで入り込むである者がある、死の蔭の谷とは深い暗い谷でそこには諸々の猛獸が潛む、悲觀誘惑などは其の猛獸である、彼等の餌食となつたものは少くない。
古來詩人はこの怪しき事實を見て恐れた、此害惡の存在は眞に宇宙の謎である、哲學者は不可解といふ、詩

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人は萬斛の涙をそゝぐ、キリストも詩人である「此の杯を我よりはなち給へ」「エリ、エリ、ラマサバクタニ」と詩人の立場から察したらどうであらう、キリストのたどつた死蔭の谷はいかに深くあつたか、いかに暗かつたか、西行などは悲い滑稽を弄して、

　鈴鹿山うき世をよそにふり棄て
　　いかになりゆく我が身なるらん

と歌つた其の淋さ、心もとなさが思やられる、覺めた人の眞情である、然し此詩人は遂に樂觀に達した、人生の怪しき陰を承知し乍らいかにも落ついて語る、曰く、「爾我と共に在せばなり」と、基督の解決も同じ道だ「然ど我獨をるに非ず父我と共に在るなり」といはれた「爾の笞、爾の杖我を慰む」の一句隨分苦い胸の中を語つてゐる、樂觀は深い所から出て來てゐる。

五「なんぢわが仇のまへに我がために筵をまうけわが首に膏をそゝぎたまふわが酒杯はあふるゝなり」

こゝでは舞臺が全く變る、こゝは王宮に宿れる旅客の歡樂を語る、强き喜びが羊の譬では現しきれなくなつて來たのらしい、基督も宗教の生活を宴會に譬へたまふた、實に信仰は趣味である、故に宴會である、然しこゝに敵前の宴會と歌つたのは面白い、敵退きて後まで待ち得ぬが人情である、苦痛誘惑が通り過ぎて後に安息が來るのでは堪へられぬ、一難を經る每に一倍して來る人生である、平安も歡樂も今要する、然しこれは殆ど無理な願である、自力修業の人は悟りぬいた所で「苦もなし」位である、この詩人は信仰に依て敵前に筵を張つてゐる、驚くべき生活である、パウロのいふた「艱難にも欣喜をなせり」とは是である詩人は更に榮光を觀ずる「我かしらに油をそゝぎたまふ」とはそれである、歡喜榮光心に滿ち胸の杯溢れに溢れて、我が杯は溢るゝなりと歌つた、シエレーは、

We look before and after
　And pine for what is not:
One sincerest laughter
　With smcerest laughter;
One sweetest songs are those that lell of srddest

thought

と歌つたが必ずしもそうではあるまい、將に十字架にかゝらんとしたまふ基督は

『我平安を爾曹に遺す我平安を爾曹に予ふ我が喜爾曹に在りて爾曹の喜を盈しめんが爲也』と申された。

六『わが世にあらん限りはかならず恩惠と憐憫とわれにそひきたらん、我はとこしへにエホバの宮にすまん』

詩人は今の喜びを思ふて又行方を望んだ、而して前途ただ光明のみと觀じた、人生の黒雲も今は少く見えて晴れたる空に美を添えてゐる黒き雲は輝ける雲となつてゐる。

詩人は天地を家と觀た、愛の滿てる所と見た、愛は永遠の者と信じた、生きても死ても平和に歡喜はつきせぬものと觀じた。

西行は吟じた

願くば花の下にて春死なん
そのきさらぎの望月の頃

而してこの詩人は歌ひおさめた

『我はとこしなへにエホバの宮にすまん』

貞節の變遷

文學博士　佐々醒雪

▲古代日本の貞操觀

婦人の貞節と云ふことに就いては、多くの歴史的變遷があります、一體太古では道徳の觀念が後世のやうに嚴格ではなく隨つて一夫多妻の習慣を罪惡と認めて居なかつたのです、古事記に書かれてゐる事實では、大國主の后が申された言葉に自分は女であるから、一人の夫しか有たぬが、御身は男であるから、行く國々で

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

妻が出來るであらうとありますから、當時一夫多妻の習慣が當り前の事と思はれてゐたのでせう。

それから、平安朝頃迄、此の習慣が繼續されてゐましたから、さまで男の罪惡を不道德と思つてゐませんでした、それに又他に一つの理由もありました、それは佛敎から受けた感化です、佛家の說によりますと、一體に男女の關係を重く見てゐなかつた爲め、其の間の道德に就いても、一向無頓着でありました、それに加へて繫念五百劫と云ふことが多く、當時の人心を支配してゐて、人の本懷を遂げさゝぬものは、死んでから地獄に陷ると云ふやうな、傳說の爲めに可惜貞節を破られた例も、決して尠くありませんでした、夫故此時代では、再緣することは寧ろ當り前のことゝ思はれてゐたのです、それから德川時代になりましては、宋學卽ち程朱の學問が盛んになつて來まして、此の感化は婦女の貞操にまで、太く影響して來たので、昔の平朝時代に比べますと、貞節の輪廓が餘程際立つて來ました、これは言ふ迄もなく道德の進步であります。

▲袈裟御前と常盤

それに昔からよく貞女として、誤り傳へられてゐる女性が多くあります、かの袈裟御前、常盤御前などは其類でせう、世間では袈裟御前が、遠藤盛遠に懸想せられ、身體極まつた揚句、身を殺したのを貞節のやうに傳へてゐますが、袈裟は一旦犯した罪惡に責められて、餘儀なく死なねばならぬ滅目に立至つたので、決して貞節を遂げた女ではありませぬ、又常盤御前とても左樣です、譬へ親と子の爲めとは云ひながら、敵方である清盛の妾となつたなどは、決して貞操を知つた女ではありませぬ、況んや後に一條大藏卿藤原長成に嫁したなどは以ての外です、一體常盤の前身が傾城である以上、これに就いて貞節の詮議立をするのは、無理かも知れませぬが、源渡の妻袈裟などは既に斯う云ふ始末であつたのです。

▲玉朝より室町まで

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

王朝時代では、佛教思想が影響しました爲めに、前に申しました通り、男女間の道德が餘り嚴格ではありませんでした、夫故一旦結ばれた夫婦關係は離るべきでないと云ふやうな思想は、多く抱持されてゐなかつたので此の觀念が、戰國時代の終り迄續いて來て居ました、尤も男の貞操と云ふやうなことは、今日に至る迄閑却されてゐますが、唯だ妻を見捨てないと云ふことの、嚴重になつて來ましたのは、鎌倉時代から後の事です。

鎌倉から室町にかけての時代には、決して妻を見捨てぬと云ふ證據に、記請文を入れて、離婚をせぬ契約を結んだのです、これに就いて東鑑に、或る男が此の契約を結んだに拘はらず、履行をしなかつたが爲め、其の妻が訴えて出たのです、所が其男の言譯としては、妻が不貞をしたからだとありましたけれども其の言譯が僞とあつて、其の判決には、夫の所領を全部妻に與へよとありました、但し其の夫と妻との間に子供が出來た時には、其の本領丈けを其の子に與へ、其の妻は唯だ加增の領地のみを領せよと云ふ判決でありました

▲再　緣　論

斯う云ふ風に武家時代から始めて家を重んずる觀念が強くなつて來ました爲めに、自然夫婦の關係なり、貞節の問題が唱へ出されたのであります、併し貞節と云ふことには二つの解釋があります、卽ち貞婦兩夫に見えずと云ふことは、同時に男に見えないと云ふのが一つと、夫の死後更に再緣せずと云ふの二つであります。尤も夫ある身の仇し男に許すなどは、人倫上の大罪でありますが、若くして夫を失ひ、親戚が後見人となつて、私慾を充す爲めに無理强に後家を立てさせました。けれども慿歴しても家庭には男主人の必要が生じる所から、遂に番頭を入婿と云ふ樣な實例は、今迄に幾らでもあつたので、妻の不貞は法律上道德上の大罪ではありますが、併し夫の死後止むを得ずして他に再嫁するのは、人類社會の進步した事實であつて、決して不貞と云ふべきではないのです。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

すぎこしかた

矢島楫

東京に參つた年の冬太陰暦を廢され、太陽暦を用ゆる事になりまして、今迄は一六の日が休日でありましたが日曜日に休む事になりました。

兄は茶せんと云ふ髮に結び家來をつれて隔日に駕籠で築地に居られた隈川先生の許に行きますと、私もどうか東京の地を觀察致したいと考へ炎天に足駄をはいて其駕籠の後に附て往復した覺えがあります。

教育に從事したい

兄は餘科教育に心を用いた人で尋ねて來る方々に、いつも兒童教育の必用を說いて居りました。私も福澤先生著の『西洋事情を讀んで感じましたのは、教育は幼稚の時代が大切である、西洋の何とか云ふ人が幼稚園をはじめたと云ふ點でありました、其後は例令御守となつてゝも教育に從事したいと考へ、筆算訓蒙と云ふ數學の書物を買つて盆の裏に大きく算用數字を書いて稽古をし漸く加減乘除迄覺えました。

四十歲にして講習所に入る

小學校令が發布されて、今日迄の寺小屋的の教育を廢止し、五人以上の兒童を集めて教へ度ものは東京府に出頭すべしと云ふ事で、教員養成所が設けられたのでありました。親戚の人で學務課に出て居つた人が此の際女教師として出願してはと申され、かねて自分も希望する所であつたので早速紙に名を記して講習所に出しましたら、婦人の出願者と云ふので大へん歡迎されました。此時私の外に出願された御婦人は古谷かつ子(十七才)、青山ちゑ子(十五才)兩女史で私は其時四十歲でありました。

初めて教會に行く

青山ちゑ子姉は毎日曜に駿河臺に居る西洋人から聖書を習ふと伺ひましたから、どうか一所に連れて行て

下さいと約束し、初めて教會に行きました、祈禱文か何か讀んで説教になると神のめぐみによつて私共の如き罪人も救はれたと聞いた時、いやな心持がして、自分から罪と云ふ位なら、どんな前科者かと思ふて居り、どうもそこに行く心が出ないので、只講習所にばかり出席して居る内、だん／＼と多くの人にも交際し又習ふ事も進んで來る、種々な方々に接して見ますと中にどんな事があつても更に動じない迄に度の定まつた、心の廣い人と思ふ方はキリスト教を信じて居られるのを見て、どうしても此の教は不問に附すべき者でない、どうかしてもつと深く聞て見たいと考へて居る内もう一年を過ぎ、教員となつたのであります。

中村敬宇先生の門に入る

何處へも奉職致しませんでした、中村敬宇先生が江戸川大曲の所に女學校を立て居らるゝのを聞まして尋ねて參りますと先生御自身受附に居られ、私が英語を學び度との意見を述べ年は四十を越へて居りますがと申した時に『止めさへしなければ出來ます』との教訓を受け、讀方、譯、數學のために、各課七十錢の月謝を拂ひ猿樂町から大曲迄毎日通學しました。日曜には教の話があるからと勸められたが一ケ月程過ると痘瘡がはやり、學校は休となり、自身も感冒に罹り、全快は致しましたけれど學校から何の沙汰もないので、その儘になりました。

月給五圓にて奉職す

日本橋常盤小學校にて角井かね子病氣引こもり中代理申付との辭令が來ましたによつて初めて月給五圓にて奉職致しました。此の小學校の校長深田康守君は實に教育に熱心な方で只今でもたしか中學校に御盡力で地方では有力な方となつて居られます。此の方につきての御話及芝の櫻川小學校へ奉職した時御懇意になつて今も尚女子學院に勤めて下さる荒井桐月先生に就而の御話は次號に致します。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

親愛なる天下の少年少女諸君に寄す

藤田寛太郎

まだお目にはかゝりませんが學の窓にあつて日夜學業にいそしまれる、親愛なる少年少女諸君の健康を祝します。私は嘗て丁度諸君と同じ年頃の久太郎といふ獨り子をもつてゐました。不幸にしてそれが五年程前に十二歳で、私共をのこして世を去りました。私共は諸君の御元氣な、御樣子を見る度に、亡くなつた久太郎を思ひ出します。愚痴な樣ではありますが子を失つた私の心持を少し聞いて頂きたい。明治四十年の十二月一日久太郎は、東京の本郷に住る友達を訪ねまして、夜に入つて歸つて來ましたが、何んとなく惡寒を覺え、身體がだるいと申しました。之が病の抑でありました。同五日からは全く床に就き、體温は三十九度以上を昇降しまして、身體中一面に赤い色の發疹を見ました。猩紅熱の疑があるとの事でありましたが、それが遂に同十四日となりましては腎臟炎となりました。醫學士高田耕安先生の御診斷によりますと尿毒症の兆があるとの事でありましたで私共、一家のものはさながら雷に打たれた樣に驚きましたが高田先生の懇なる御指圖もありましたのでたよりの無い中にも聊かたよりを懐いてをりましたが何んといふ不仕合の事でありましよう私は皆樣に申すのも御耻しく存じますが實は或人の言ふつまらぬ事を眞に受けまして一種の新療法と云ふのに迷つたのが一生の不覺でありました最初は効のある樣で御座ましたが段々久太郎の樣子が惡くなつて一家の全力をあげて夜の目も寢ずに致しました看護は全く水泡に歸して了ひました腎臟炎から肺水腫となり更に腦の病となり痙攣が甚だしくなり遂に人事不省となるに至り明治四十一年一月二日午前八時五分は生涯私に取りて忘れる事の出來無い日となり時となりました愛兒久太郎は遂に召されて天國に參りました。

病中に於ける久太郎が健氣なる擧動は思ひ出すだに涙の種であります。病の苦みが時々刻々身に迫つて身

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

體と精神とをくひ盡さんとする時にも、かれは決して女々しい擧動をしませんでした。彼は口癖の樣に「これ式の病氣に坊は負けぬよ」といひました。愚なる父母の爲す事を見ては笑止に思つた事も幾度かあつたでありませうが、彼は一言も不平を申しませんでした。負うた子に敎へられて淺瀬を渡るといふ諺のやうに、私は久太郎がまだ達者でをりました時に、度々彼れから敎へられました。實業に從事してをります私は時として客への御愛想に客室に備へた卷煙草を手にする事もありました。久太郎は父の權威を少しも恐れず「お父さん煙草はおよしなさいませんか」と申しました。私は煙草が好きで喫うたのではない。併し時折客への御愛想にとて、煙草を手にする事はあつた。正義の權威には服從しなければなりません。私は子供といへ、正義をもつて父に對する久太郎の權威には喜で服從しました。大人の偉い者は子供の精神をもつて居ります。正しい子供は確に大人の師であります。久太郎は私の子であつた。併しまた私の師であつた。私は久太郎によつて世の中を學びました。人の情の温さも美しさも、乃至は人の强さも弱さも、これを皆久太郎から學びました。剛毅の父と柔和な母とのくさびとなつて、一家の平和を維持し、一家の樂しいパラダイスとしたのは久太郎でありました。

いとしい懷しい久太郎は、足らぬ父母の爲に世を早うしました。私はそれを思ひますと腸がちぎれる樣に感じます。有樣に申しますれば、私は久太郎が亡くなりましてからは、全く人心地が無い樣になつたのであります。世の中に何の望も樂もなく、自分の大切な業務の方も、全く御留守にして仕舞ひました。忘れる暇が少しもないから、別に思ひ出すといふ事は無い。始終思ひ續け〲て居りました。追慕の念が嵩じまして、矢も楯もたまらぬ樣になれば、青山の墓地に參りまして、「久太郎よ〲」といつて泣きました。之れがせめても心遣りでした。掛け代の無い獨り子を失つたのですもの、然もそれが自分の手落ちからではあるまいかと思はれるのでありますもの、どうして悲しますに

をられませう。私の涙の中には悲の外に悔の血潮が混つてをつたのであります。

然し諸君、私は久太郎と共に天津神を信ずる者であります。明治天皇が

目に見えぬ神の心に通ふこそ
人のこゝろの誠なりけれ

と御歌ひなされた『目に見ぬえ神』を信ずる者であります。久太郎が不幸短命にして亡くなりました事は、親の情として誠に殘念でたまりませんけれども、之れも目に見えぬ神樣の深い御思召のある事でありませうから、今更いくら繰返へしても追付かない後悔をやめにして久太郎に成りかはつた新しい生涯を送らうと決心致しました。斯ういふ悟の開けましたのは、久太郎が亡くなりましてから凡そ半年もたつてからの事であります。眼が醒めて見ますと、久太郎が世の中に仕のこした仕事が澤山あるのであります。私はもうそれ以來私といふものを全く棄てまして、私のする事は何もかも久太郎の仕事だと極めました。私は言つて見れば久太郎の陰法師であります。今生きてをるのは私では無くて久太郎です。久太郎が私に成り代つて仕事をするのであります。

久太郎が第一に始めました仕事は『慈愛之涙』といふ可なり大きな本を世の可愛い御子さん方を失つて悲んでゐらつしやる親たちに差上げた事でありました。此本は大層お爲になつたと御子さんを失はれて、悲しんでをられる方々からの御言葉がありました。で久太郎も非常に喜んで居ります。さて久太郎には澤山な御友達があります。皆今は樂しい天國で、何か諸君の御役に立つ樣な仕事をしようと考へて居ります。今度愈その御友達と一緒に東京に兒童圖書館といふものを建てる事になりました。之れに就いては、諸君の御父樣やお母樣には、別にそれぞれ御願する事に致しておきましたが、諸君にも亦御願があるのであります。その御願といふのは外でもありませんが斯ういふ過去の悲しい經驗から出立致しまして、せつない〳〵親心の已むに已まれ無い慈愛から遂に兒童圖書館といふ事にな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つたのでありますから、どうか諸君が此の心根に御同情下さいまして、兒童圖書館に對する御感想を御銘々出來る丈の文章に御認め下さいまして、兒童圖書館に御送り下さる事を願ひます。同時に、手形の御寫眞に、姓名生年月日を明白に御認め下さいまして、併せて御送り下されば、更に好都合であります。圖書館は永く之れを館内の一室に保存しまして、諸君の好意と共に永く諸君を紀念し度いと思ひます。

若し幸に諸君が久太郎等一同、今天の樂園に在る者どもの請を容れて、深厚の同情を寄せて下さいますならば、彼等樂園の愛兒どもの喜は申す迄もなく、それは實に諸君が同胞友愛の情を御發揮なさる事であり、大君の御下しなされた大敎を御實行なさる事で、實に天下の美擧であらうかと存じます。其の上諸君の中には、將來地方の敎育を卒へて、東都に遊學なさる方もありませう。其の時兒童圖書館は諸君を喜んで迎へ、諸君に恰好の紀念物を呈するのであります。諸君の少年時代の筆に成りし感想文や、無邪氣なる肖像は、大人となり給ひたる諸君を迎へて、昔を偲ぶよすがとなるでありませう。樂しい兒童圖書館の一日は諸君をして昔の少年に立ち返へらせ諸君をしていひしれぬ床しい香になりし昔を偲ばせるでありませう。

こんな事は如何にも儚ない、つまらぬ事の樣ではありますけれども情といふものは、其の儚ない、つまらないと思ふ樣な所に繫がつて居るのであります。美しい子供時代の心を追懷して汚れた身と心とを持ち直した例は幾何もあるのであります。どうか此の精神主旨を十分に御汲取を願ひます。

申しおくれましたが東京兒童圖書館は、豫定の建築を致します迄東京市立日比谷圖書館の一部を借りて存在して居るのであります。兒童圖書館が初て產聲をあげましたのは、明治四十五年の二月十一日、即ち紀元節の日であります。只今は同館内に於きまして、日々少年少女方と又大人の婦人方とに縱覽を願つてをります。之は全く久太郎等の精神を同館長が諒とせられまして、快よく御許し下された結果であります。兒童圖

書館は今後五年を期しまして、兒童圖書館として最もふさはしい形に於て建築せられる筈であります。かういふ譯でありますから敢て諸君へも御同情を願ふ次第であります。どうか諸君が此精神をお汲み取下さいまして、應分の御盡力を垂れ給はん事を希望致します。

上に述べたやうな次第で兒童圖書館は先づ世の少年少女諸君から左の通り綴方と書方とを募集致します。

△綴　方

○綴方は左の二種と致します。

1 父母の慈愛に感じたる實例

2 朋友に對する親愛の實例

○文體は随意であります。

○文章の長さは二十字詰二十行以内と致します用紙は半紙十二行罫紙のこと文字は毛筆を用ひて叮嚀にお書き下さい。

○應募少年少女の年齢は十二歳から十五歳までと限ります。

○はじめに文題を書き次に住所、學校名、姓名、年齢を委しく記しその次から文章を書くこと。

○一人で二題とも應募しても宜しいのであります。

○締切りは大正二年三月三十日。

○宛名は東京市京橋區釆女町二十四番地藤田寛太郎

△書　方

○書き方の文字は左の通りであります。

忠愛至誠

○書き方は半紙をタテにして書くこと。

○紙の左の隅に住所、學校名、姓名、年齢を忘れずに書くこと。

○應募少年少女の年齢は十二歳から十五歳までと限ります。

○締切りは大正二年三月三十日。

○宛名は東京市京橋區釆女町二十四番地藤田寛太郎

右綴方と書方とは〆切の後選抜して優等のものをあつめ一冊の紀念帖と致します而して優等者參百名内外に

その紀念帖を差上げます。

綴方と書方とは一人で兩方とも出しても宜しいのであります又少年少女諸君の中から紀念のために寫眞一枚お送り下されば嬉しいと思ひます。

お送りになりたる綴方書方は之れを集めて展覧會を催し其後は東京兒童圖書館の紀念品として永く保存し少年少女諸君の親愛なる御同情を忘れぬ様に致します

審査委員　左の先生方は此事業に御同情下されて審査委員とお成り下さりました。

（姓名いろは順）

少年少女世界記者　巖谷小波
少女世界記者　沼田笠峰
少年世界記者　竹貫佳水
お伽くらぶ記者　久留島武彦
女子高等師範學校講師文學士　倉橋總三
少年少女記者　安倍村羊
女子高等師範學校講師文學士　下田次郎
東京市立日比谷圖書館長文學士　守屋恒三郎

◉小川義綏翁の永眠

獨り日本基督教會のみならず故奥野翁等と共に我邦新教傳道の初穗たりし小川老牧師は今春以來重患に罹られしが一時回復し元氣に傳道に從事せられしが去十二月十九日心臟痲痺にて永眠せられたり。翁は天保二年十月を以て武州分梅村の農家に生れ二歳の時より一家江戸に移り後ち伯父の家を嗣ぎ武術を修むる數年。又漢籍を大沼川田諸儒に學び。後又入りて父家を嗣げり。慶應元年タムソン宣教師の語學教師となり同氏を助けて約百記の飜譯に從事せり。當時パラ、タムソン二氏横濱なるヘボン博士の施療院にて説教をなし居りしが之を聽聞して深く感ずる所あり、研究數年にして明治二年タムソン氏より受洗す。三年九月タムソン氏和歌山藩に聘せらるゝや共に同地に赴き同藩に預けられし長崎の浦上村の天主教徒の信仰に感服せりと云ふ。明治五年三月海岸教會の設立せらるゝや選ばれて其長老となり、同七年東京に移りて新榮教會を組織す。同十年横濱中會に於て按手禮を受け牛込教會に七年、淺草教會に十一年在職す。同十九年明星教會の設立せらるゝや其牧師となり卅六年之を辭して自由傳道者となる迄十七年間牧師の任に當る。享年八十歳葬儀は去二十一日神田青年會館に於て擧行され石原氏司式、山本氏履歴朗讀、星野氏説教し、タムソン、小崎、稻垣の諸氏夫々代表の弔辭を述べたり。谷中の墓地に埋葬す。かくて日本の基督教會も次第に長老を天國に送りて其基礎を堅からしめつゝあるなり。

米國だより

小崎道雄氏寄贈

オベリン大學に於ける男女間の規則

○若き男子は學校の若き婦人をその室に見舞ひ又は大病のせつ特別の許可を得たる場合の外、自己の室にて若き婦人の訪問を受くる事を禁ず、之を犯す者は退學を命ず。

○若き男子は學校の若き婦人と交際するに當り婦人の爲に設けられたる規則を準守すべきものとす。

○若き婦人はすべて夕七時半以後はその室に居るべし午後十時後寢に就き靜肅を守るべし。

○若き婦人は毎日晩餐後及土曜日午後の外男子の訪問を受け又は之と歩行すべからず。

○日曜日には他の寄宿舍を訪問すべからず。

○若き婦人は監督の許可なくして夜會又は饗應に列すべからず。

右は日本に於ける學校の規定と大同小異にて別に珍しくもあらざれど、之を實行する點に於ては彼國は實に感服に堪へざる點多し。

禁煙課及衛生課の方々へ

ガンドレット恒子

前略、禁煙なされ候方々の中には其爲め六七ケ月間も神經衰弱を起され候方を見受申候、之は大に考ふべき事と存じ候間、廣く諸方に訴へ充分專門家に就き御研究被下候樣御依賴申上候、何か之に對する豫防法を考出する必要有之候事は明かにて元より神經衰弱の起る原因は煙草によつて起り候事も明かに候も業務に日々從事する者が六七ケ月間も衰弱を來し、苦しむのみならず、損害を被る事は充分研究に値する處と存じ候間禁煙課、衛生課には特に御研究被下度願上候

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小供の衛生

精華學校に於ては生徒の爲めに左の如き衛生上の心得書を與へて居ります。見れば單に學校衛生としてのみでなく、家庭衛生上に於ても大變に參考になる事項だと存じて、玆に掲げる事に致しました。

一、校舍に入るときは必ず靴をよく拭ふ可きこと
二、校舍内を疾走せぬこと
三、校舍を不潔にせぬこと
四、便所を汚さぬこと
五、便所に往きたるときは必ず手を洗ふ可き事
六、各自の机、腰掛は常に清潔にし机の内部をよく整頓す可きこと
七、紙屑は必ず紙屑籠に入る可きこと
八、自分にて出來ることは自分にてすること
九、自分にて使用したるものは成るべく自分にて始末すべきこと
一〇、顔面は毎朝水にて洗ふ可きこと
一一、男兒は洗面の際、頭髪を洗ひ、女兒は頭髪を梳る可きこと
一二、毎日授業了りたるときは手を洗ふ可きと
一三、歯は毎朝起きて清潔にし就眠前にも含嗽すべきこと
一四、年二回位歯醫者に就いて歯石を掃除すべきこと
一五、手拭及び「ハンケチ」は必ず持參す可きこと
一六、家庭にても手拭を別にす可きこと、金盥もこれを別にするを可とす
一七、自分の用品には姓名を記し置き他人のものと混同せざる可きこと
一八、他人と物品を貸借す可らざること
一九、襯衣、靴下は殊に清潔なるを選ぶ可きこと
二〇、平素襟巻を用ゐぬこと
二一、厚着をせぬこと
二二、靴は清潔にして窮屈ならざるを用ゐる事
二三、書物を開くに指頭を舐めぬこと
二四、鉛筆、毛筆等の尖を含めぬこと
二五、放課時間中は運動場に出で成るべく日光に浴し且つ危險物（ナイフ、棒切等）を所持せざるべきこと
二六、家庭に於ける復習豫習にも成るべく身長に適應する卓子腰掛を用ゐること
二七、常に姿勢を正しくす可きこと特に習字、圖畫、筆記等の際注意すべきこと
二八、日常の生活方を規則正しくすること
二九、夜は八時又は九時に就眠して深くよく睡り朝は六時頃に起きること（九時乃至十時間就眠を要す）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三〇、眼を過度に使用せぬこと

三一、薄暗き所にて書物を視つめぬこと

三二、細字若くは印刷の不明なる書物を長く見ぬこと

三三、眼と書物との距離は一尺二寸位なる可きこと

三四、お饅頭の類に耽らぬこと

三五、食物は凡て八分目とし且つ急食せぬこと

三六、間食は一日一回若しくは二回とし時刻を定めてすること

三七、盗食をせぬこと

三八、半熟の果物又は古き菓子、果物を食せぬ事

三九、生水を濫りに飲まぬこと並に水は餘り多く飲まぬこと

四〇、露店の飲食物特に其の氷水の如きは之を飲まぬこと

四一、過熱過冷の物を飲食せぬこと

四二、食後直に寝に就かぬこと

四三、食事の前後に烈しき運動をせぬこと

四四、食事の前後三十分間は入浴せぬこと

四五、入浴は毎週二回以上たるべきこと

四六、食物を含みながら談話せぬこと

四七、食事後は含嗽すべきこと

四八、就眠後三十分以内に食事せざること

四九、諸事清潔を旨とし身體特に皮膚を常に清潔に保つべきこと

五〇、時々爪を切り且つ之を清潔にすること

五一、運動等のため發汗したるときは直らに拭ひ去るべきこと

五二、病氣の際特に體温三十七度五分を越ゆるときは出校せぬ事

五三、負傷したるとき其他身體に異常あるときは直に醫師の診察を受くべきこと

五四、傳染病に罹りたるときは全快する迄出校すべからざること

五五、蠅は傳染病の媒介者たることを忘るべからざること

五六、休日には努めて郊外運動を行ふべきこと

五七、多人數集合の場所には成るべく往かぬこと

五八、男兒は毎月二回理髪すべきこと

五九、痰唾は唾壺に吐くべきこと

六〇、呼吸は鼻よりすること

六一、不潔なる空氣惡瓦斯若くは塵埃の中に呼吸せざる事

六二、電車の中或は道路にて書物を讀まぬこと

六三、電車の飛乗降をせぬこと

六四、父母兄姉の命令は堅く守るべきこと

六五、學校長教員より禁止したる事は堅く守るべきこと

六六、高等女學校の生徒は餘暇を以て家事の手傳をなすべきこと

六七、裁縫を終りたるときは針の數をあらたむること

六八、男兒は「ランドセル」を用ゐること

六九、石盤は使用せざること

七〇、心身共に過勞を避くく就中無益の心配をなさぬこと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

醜業者に關する刑法の改正

（英國下院を通過す）

小崎弘道

昨年十月の初め頃、英國々會に掲示された醜業者に關する刑法の改正案は、宗教界並に社會改良に熱心なる人々が大に注目した所でありましたが、日本では何の新聞紙にも記載せられなかつたのは殘念な次第であります。その改正案の要點は

第一、女子を誘拐して醜業を營ましめ、又は女子を束縛して人身の賣買をなすが如き者に對しては、巡査は裁判所の拘引狀なくして直に嫌疑者を捕縛することを得、歐米にては人權を大に重んずるため、現行犯に非ざる以上は裁判所の拘引狀なくして巡査が勝手に罪人を捕縛する事を得ず。然れども此の種の罪人のみは他の罪人と其理由を異にして、甚だ軟弱なる女子を保護する上より特別なる取扱を必要とすと云ふ事で改正案が提出になつた。

第二の改正案は此種の犯罪者の處刑を行ふに、罰金や懲役では到底懲罰の目的を達する事むづかしき故を以て之を體刑即ち笞刑に處するとの改正案である。

歐米の文明國では刑體は永く廢止され居りし事なれば今回此の如き改正案が提出せられしに付ては反對する人々が少くない、然るに斯の如き刑法を必用とする理由は、女子を誘拐して醜業を營ましむる如き醜業者は尤も墮落を極めたる惡奸なれは如何なる多額の罰金でも又は如何なる長年月の懲役でも彼等を懲罰するに足らぬのである、彼等は金錢を盜むに非ず、女子の生命たる節操を盜んで賣買する惡奸なれば、死刑に處して差支なきも、死刑は余り酷なる故之を笞刑に處するこそ適當であると云ふのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

右の案を通過せしむる爲め輿論の贊成が必用であるを以て十目の初に於て、各派の敎役者其他の有志者がライショムと云ふ劇場で大會を催し、この改正案贊成に決議をなした、當日此の會に演說をなした人々は、ロンドンの監督イングラン博士を始めとしてマイヤ博士、ラッテンベー牧師及ユダヤ敎の代表者モンテフイリオ氏等であつた、當日の集會者四千人を越え最も盛會だつたそうである。修正案が下院を通過したのは十一月の初旬で、其時改正案に贊成者二百九十七人に對し反對者僅かに四十四人であつたとの事である。

日本に於ても矢島楫子女史は在外醜業婦取締法案に關し、年々議會に請願出を提出さるゝ事すでに二十七回と云ふ魂膽を重ねられますが、いつも不問に附しられ、誠に殘念な次第であります、人權を重んずる歐米に倣ひどうか本年は此法案並に一夫一婦の刑法改正案が首尾よき解決を見るに至らむ事を切に希望致して居ります。

デビス孃の歸京

十二月上旬臺北に向け出發せられし同孃は、渡臺後渡邊常子女史と相助けて、同地に矯風の主義を鼓吹し、至る所に歡迎を受け恙なく本月上旬歸京せられたり、其結果臺北には不遠婦人矯風會の設立を見るに至るべしと目下會長につき談判中なり。

杉本、守屋兩姉の歸京

靜岡英和女學校某氏より聘せられ、天龍川沿岸の地に主義を擴めんがため一週間程毎日三四回の講話を試みられし兩姉は無事歸京せらる。兩姉の働きは必ず好結果を產出せん事を期待す。

水戸婦人矯風會發會式

本月十七日午後一時より、水戸市上市備前町フレント敎會内に於て、婦人矯風會の發會式を擧行せられしを以て、本部副會頭本多貞子姉及通信書記高原孝子出席せり。同地新支部會長ミス、ルエス司會の許に讃美祈禱、聖書（詩篇百四十六）朗讀を以て會を開き、花

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

崎夫人きよ子姉の挨拶ありて後、本多姉は萬國婦人矯風會の起原及歴史の概略並に日本に於ける婦人矯風會の組織及婦人矯風會の性質に就き語られ、高原孝子は祝辭に併せて酒精の人體內臟器に及ぼす結果及各課の働きにつき說明せり、斯くて後板垣夫人の祈禱を以て閉會し當日五人の新入會員を得たり。同日は雨天なりしも三十餘名の出席員あり。同地は人々保守的の傾きあるにもかゝはらず婦人矯風會の設立を見たるは實に感謝の至りなりと會員各自熱心に奮勵せらるゝを以て將來必ず此主義の擴張を見るに至るべし、會員總數は三十四名にして、會長ミス、ルエス。副會長赤須まつ子。記錄書記花崎きよ子。通信書記佐治たき子。會計加藤木ふき子と定められ、毎月第二の土曜に例會を開かれ課の働も漸次決定さるゝ由なり。

東京出獄人保護事業

同保護所主管原胤昭氏は此程該事業の第十六年報を寄せられた。其大要は、同所に於て保護を受けたる出獄人は總計千四百二十八人にして、其十分の七は良好の成績を示し、殘る十分の三のみが不良に再び陥りたりと云ふ。尚昨年中に收容したる新被保護人は三百三十八人で例年に比して倍增したと云ふ。

又同氏が餘力を以て試みたる二保護事業の成績を聞くに左の如しと云ふ。

被虐待兒童被保護者　六十七人

（自四十二年五月至大正元年末日）

年齡　最少　生後一ケ月　最長十三年

保護成績

	男	女	計
保護養育中のもの	七	四	一一
内 ｛上毛孤兒院二、東京養育院二、同安房分院一、岡山孤兒院一、大坂博愛社一、福田會一、豐橋育兒院三、			
安全なる養育に歸着せしめたるもの	一〇	一四	二四
死亡したるもの	二	三	五
警告を與へ養育を監視しつゝあるもの	七	一一	一八
監視中養育者の所在不明となりしもの	四	五	九
計	三〇	三七	二八

浮浪兒童被保護者　百十三人

（自四十四年一月至大正元年末日）

内　男　九六　女　一七

保護成績

	男	女	計
施療せしめたるもの	九	二	一一
歸國せしめたるもの	三六	二	三八
就職せしめたるもの	二七	九	三六
寄宿舍其他の機關へ轉移せしめたるもの	一六	二	一八
死亡	一	一	二
逃亡	二	—	二
所在不明	五	一	六
計	九六	一七	一一三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

おとづれ

●呉婦人矯風會

九月廿六日午後一時半より軍人ホームにて秋季第一例會開催。此日は特に大會に出席せられし十時、宮本兩姉の報告を兼て會の働き其他に就て種々協議したき事もあれば會員諸姉に是非出席せられ度旨前以て通知せしも集まれる姉妹方僅かに十二名に過ぎざりしは誠に遺憾なりき。會長司會の許に讃美祈禱は捧げられ後、會長は過ぐる八月思ひがけず大阪支部長林歌子女史の來訪を受けられしうれしさと、尚餘りに事急なりし爲準備の餘裕もなくて折角の好期を一度の集會も開くを得ざりしは遺憾なりしも女史の熱心によりて炎天長途の勞れをも省みず、會の爲に署長夫人其他會員諸姉の御宅へ個人訪問をするを得て、同姉を介して非常に會の精神を姉妹方に鼓吹するを得しは誠に感謝に堪へざる次第、尚呉支部の爲に多年の經驗上より種々有益なる注意を與へられしことを喜び述べられ一同感謝せしことなりき

引續き大會の報告は新報誌上にて詳細を知られ度も只會長自らが此會に出席して非常に感じたるは本部役員諸姉并に會員等の熱心其會務の目醒ましき進步、又各支部の其所在地に於て各自有益なる働きをなされつゝあるを聞くにつけても呉の小さき團體のいやが上にも少さく恥かしき心地せり、一度は非常なる發展に賞金までも得し此支部、來らん一ケ年にて何か期する所なくては……と熱心に勸められたり。宮本姉も初めて大會に出席して學びしふし多く大いに勵まされたりとて其見聞を述べられ益せられし所多かりき。引續いて相談に移る。會長は從來の課に加へて傳道課設置の議を提出即時可決。課長にはブロカ夫人を依頼することにしたり。(然しこれは夫人差支ありとの事にて暫時ミスナヲントンに副會長と兼任を願ふ事に決す)

書記宇津姉御差支の爲辭任適當なる後任者ある迄今回歸呉せし吉村姉に頼む事となれり。大阪の會員河田姉轉任出席せられたり(書記吉村里子)

◎熊本婦人矯風會

十二月六日神學博士平岩監督の御來熊を幸ひ午后二時半より三年坂美以教會に於て母の會を開催致し候。宮野よし子姉司會せられ、平岩監督は母の務の重大なる事而して其務はかくれたる仕事でありつらい仕事である事につき種々の例を引かれ、更に其かくれたる仕事が非常に光榮あるものなる事を教へられ、其光榮ある働きは神に仕ふる事によりて完ふせらるゝ事を懇切に教へられ申候。集會者六十名計り、入會者一名(書記奥きく子)

◉神戸青年婦人矯風會

十一月八日第二金曜日午後二時半より神戸女學院講堂に於て河合姉司會にて矯風會講演會を開く。辨士は村松淺二郎氏にて左の如き講演ありたり。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

矯風會事業は各會員が之を實行するに於て始めて其効果があるのである、矯風會事業が理想的に進む時には此世の中より罪惡はとりのぞかれる事であろう、されどこの事業をなして世の中に於て効力ある結果を得しめんには三つの有力なる武器が必要である、即ち第一には法律である、法律の力によつて未丁年者にて禁酒禁烟をなさしむること、第二は教育の力である、此世の中には善惡をも知らないで罪惡を犯すものがある、是等の人々を教育して善惡を識別せしむる事、第三は宗教の力、右二力は未だ人の心を根本より善良ならしむる事は出來ない只宗教によりてのみ此力を見出すのである、然しいづれの宗教にも此力ありと云ふ事は出來ない、人を新たに生れ更す力あるのは唯に生けるキリスト教あるのみである、故に此キリスト教を普れく傳へて禁酒禁烟を守らざるべからざる理由を知らしめ以て彼等をして自ら禁酒禁烟家たらしむる事最も大切であると。

十一月十日日曜日午後六時より同院パーラに於て禁酒の事業を共に學ぶ。此事業を對治的に仕組み大なる木の畫を大がき其幹にアルコールと書し枝には酒より生ずる罪惡の名を書し置き數名の姉妹銘手に斧を取りて出で來り、各々一つづゝの罪惡の枝を切りすてんとする時に他の一人出て來てこれを根から切るこそ最良法であると云ひて之を切り倒して全くアルコールの木を倒さしめるやうにした事は誠に興味あるを覺えた數名の熱心なる祈ありて閉會(書記永井せらい)

●本部だより

○常置員會　本月十五日午後三時より、女子學院に於てデビス嬢歸京の慰勞を兼ね、常置員會を開く。會頭矢島楫司會の許に會を開きデビス嬢の臺灣に於ける働、生蕃人の狀況につき談話ありて後、杉本姉亦旅行談を述べらる。時間少かりしを以て他の議案は後に讓り閉會せり。出席員は矢島、バンフハインド、小崎、オード、杉本、デビス、スペンサー、ロンドン、井深、粟屋、富永、中川、長尾、根本、鈴木、守屋、大岡、高原、の諸姉なり。

會告

婦人新報代金領收

一金五圓六拾錢(大正元年下半期分)前橋矯風會
一金四圓廿錢　(大正二年八月迄)　岡田ほら子
一金七拾錢　(大正元年分)　宮田ちか子
一金九圓　(大正元年十一月分)大阪矯風會
一金拾壹圓　(大正二年上半期)在米吉田かれ子
一金七拾錢　(大正元年分)　大村千枝子
一同　(同)　浦　四三子
一同　(同)　瀧山テル子
一金壹圓四拾錢(大正元年十二月迄)柳瀨しか子
一金貳圓四拾五錢(大正二年度迄)　上代　淑子
一金貳圓四拾五錢(大正二年度迄)　山本きた子
一金七拾錢　(大正元年分)　中島しづ子
一金四圓八拾錢(同)　小林とよ子外三人分
一金七拾錢　(同)　竹内さと子
一金七拾錢　(大正二年九月迄)　新井こう子
一金壹圓四拾錢(大正二年分迄)　河野ます江子
一金七拾錢　(大正元年分)　神戸青年部
一同　(同)　長島とも子
一同　(同)　岡田みす子
一同　(同)　江原八重子
一同　(大正二年一月迄)　馬場千代子
一金四圓貳拾錢(大正二年二月迄)　曾田たき子外五人
一金拾貳圓六錢(大正元年十二月迄)　在米　宮崎しま子
一金壹圓九拾錢(大正元年分)　石神八重子
一金七拾錢　(大正元年分)　島村　森枝
一金拾八圓　(大正元年十二月迄)麹町矯風會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察、月、水、木、金午前、入院、診後應需

林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

東洋内科醫院

電話本局（八八八番（病院用）
八九八番（私宅用））

東京神田區駿河臺鈴木町二御茶水橋南

院長 醫學士 高田畊安

相州高座郡茅ケ崎町海濱從停車場半里

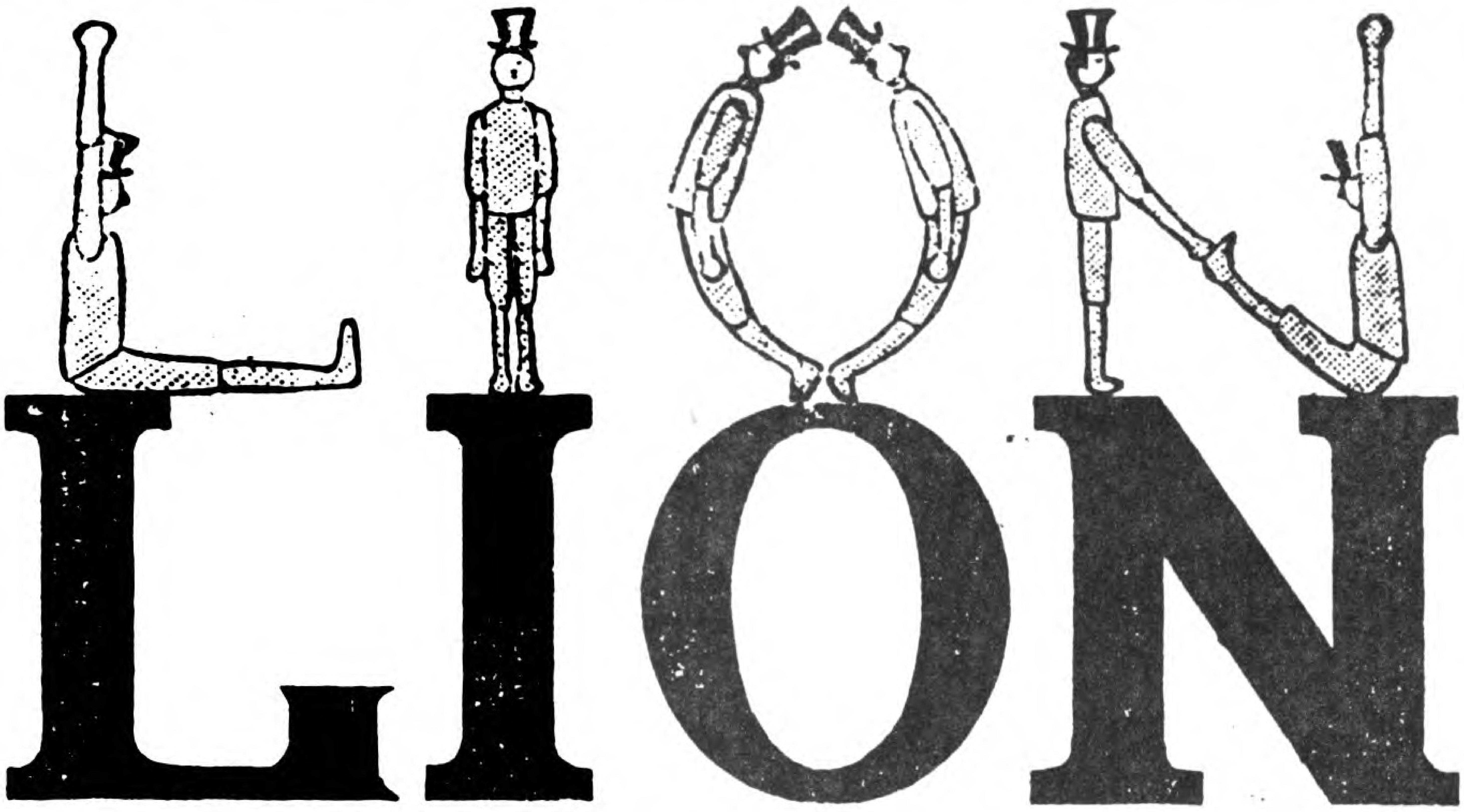
南湖院

電話ちがさき二番

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤

院長診察、土曜日午後、入院、診後應需

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



始終神樣に近づいて
清い心を持つた者に
何の惡魔が
誘惑の手を擴げましよう。
朝夕ライオン齒磨を使つて
美しい齒を具へた口から
何で病の黴菌が入り込みましよう。

●ライオン齒磨大袋入
は中味が多いから大勢の御家庭用には至極御徳用です

發賣元 東京 大阪 名古屋 小林富次郎

本誌定價一部金六錢